

令和3年5月25日開会

令和3年5月25日閉会

第1回猪名川町総合教育会議 会議録

教育委員会事務局教育振興課

令和3年度第1回猪名川町総合教育会議 会議録

1 日時 令和3年5月25日（火）午後4時30分～午後5時30分

2 場所 第2庁舎2階 委員会室

3 出席者

○町長部局

福田町長、森企画総務部長、平井企画政策課長、小山総務課長、橋本企画政策課主幹

○教育委員会部局

中西教育長、森口教育長職務代理、田尻教育委員、北垣教育委員、渡瀬教育委員

○事務局（教育総務課）

曾野教育部長、岩木学校教育課長、澤教育振興課長、春名教育振興課主幹

4 付議事項

〈報告事項〉

第1号 令和3年度町予算について

第2号 猪名川町立中学校再編準備委員会の進捗について

午後4時30分 開会

1. 開会

(澤教育振興課長)

皆さん、こんにちは。

定刻となりましたので、ただいまより、令和3年度第1回猪名川町総合教育会議を開催させていただきます。

はじめに、開会に際しまして、福田町長より挨拶を頂戴いたします。

(福田町長)

皆さん、こんにちは。コロナということもありますので座って失礼いたします。

教育委員会定例会終了後の、お疲れのところにお集まりいただきまして誠にありがとうございます。令和3年度に入りまして、第1回目の総合教育会議をはじめさせていただきますと思います。

さて、本町では、新たなまちづくりの指針となる第六次猪名川町総合計画が令和2年度よりスタートしております。本町の目指すまちの将来像「つながりと挑戦、幸せと笑顔あふれるまち猪名川」の実現に向けて、令和3年度予算においても効果的、集中的な予算編成を行いました。予算概要につきましては、後ほど担当からご説明を差し上げますが、教育委員会の皆さまからの忌憚ないご意見を頂戴できましたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

また、新設校である清陵中学校、その再編準備の進捗につきまして、本日も報告をいただけると伺っております。開校までいよいよ1年を切り、教育委員会の皆さまには引き続きご苦勞をおかけいたしますが、私ども町長部局も教育委員会の皆さまと一丸となり本事業の完遂に向けて邁進してまいりたいと思います、どうぞよろしくお願いいたします。

以上、簡単ではありますが、会議開催に際しましての私の挨拶とさせていただきます。

(澤教育振興課長)

ありがとうございました。

それでは、議事に入る前に資料の確認をさせていただきます。

まず、本日の会議次第、次いで、報告案件第1号の説明に用います、「令和3年度猪名川町予算の概要」、「予算説明会主要事業説明書」、そして、報告案件第2号「中学校再編準備委員会の進捗について」の説明に用います資料、A3横長の資料にカラー刷り資料が2枚添付したものととなります。

資料の方はお手元に揃っておりますでしょうか。

それでは、以後の進行につきましては、猪名川町総合教育会議設置要綱第4条の規定に基づきまして、町長が議長となりますので、進行のほどよろしくお願いします。

(福田町長)

それでは、私の方で進行させていただきます。

本会議は、猪名川町総合教育会議設置要綱第6条の規定により公開となります。

事務局 傍聴の申し出はありますか。

(春名教育振興課主幹)

本日は、1名の方より傍聴の申し出がありました。

(福田町長)

本日の議題は報告案件のみであり、非公開とすべき情報はないと判断し、傍聴を許可することとしますが、委員の皆さまよりご意見はありませんか。

— 異議なしの声あり —

(福田町長)

それでは、傍聴を認めたいと思います。傍聴希望者の入室を許可します。

— 傍聴者入室 —

2. 報告事項

(福田町長)

ただいまより議事に入ります。

本日の会議では、「報告第1号 令和3年度町予算について」と「報告第2号 猪名川町立中学校再編準備委員会の進捗について」の2議案がございます。

はじめに、「報告第1号 令和3年度町予算について」、総務課長より説明を申し上げます。

(小山総務課長)

それでは、猪名川町における令和3年度当初予算の概要について、ご説明させていただきます。説明については、この概要書に基づいて説明させていただいた後に、別冊の主要事業説明書において、新年度の重点事業を中心にご説明をさせていただきますので、よろしくお願いします。

それでは、お手元の「予算の概要」4ページをお開きください。令和3年度当初予算の会計別集計表でございます。まず、一般会計の総額ですが、表の一番上の一般会計の令和3年度当初(A)の欄となりますが、107億25,000千円で、その右側(B)欄の令和2

年度当初と比較しますと、右隣りの比較の（C）欄で、△4億49,000千円、率にして△4.0%の減額となっております。新年度は中学校再編事業や小中学校の給食費公会計化など教育関連経費の大きな増額要因がありますが、前年度に道の駅整備事業や大野山下山道の安全対策工事、防災情報提供システムの整備等、大規模な事業経費を計上していたものが大きく減少したため、予算全体では減額となったものでございます。

また、その下には4つの特別会計を順次掲載しております。

国民健康保険特別会計につきましては、被保険者数は減少したものの、県への納付金が増加したことなどから、前年度比で1.0%の増となっております。

次に、介護保険特別会計では、主に被保険者数の増加に伴う介護サービス給付費などの増により、前年度比で3.4%の増となっております。

次の後期高齢者医療保険特別会計では、被保険者数の増加に伴う療養給付費負担金などの増加により、前年度比で5.9%の増となっております。

次の奨学金特別会計では、31,385千円で、後年度への基金積み立てを行うことから、前年度比で66.1%の増となっております。

以上、特別会計の合計としては、66億29,545千円で、前年度から1億73,923千円、率にして2.7%の増となっております。

その下にある、水道事業会計及び下水道事業会計の2つの企業会計を合わせた令和3年度当初予算の総額としましては、201億66,118千円で、令和2年度当初予算と比較しますと、△2億39,317千円、率にして△1.2%の減となっているものでございます。

次に、6ページをお開きください。ここでは、一般会計予算における歳入の内訳をお示ししており、歳入を、それぞれ「款」ごとに整理をしたものでございます。

表の一番上、1款の町税につきましては、32億42,118千円で、新型コロナウイルス感染症や地価の下落、評価替えなど減収要因が大きく、前年度から△5.3%の減となっています。

町税の状況につきましては、9ページに「町税の状況」として整理しておりますので、こちらをご覧くださいと思います。町税以外の主なものとしまして、地方譲与税や各種交付金のいわゆる一般財源に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響や消費の落ち込みなどにより全体的に減少傾向となっております。

11款の地方交付税につきましては、24億35,000千円で、ほぼ前年度並みを見込んでおりますが、これは新型コロナウイルス感染症の影響による地方税等の減収に対し、国が一般財源総額を確保するといった地方財政対策の内容を反映しているものでございます。その他、15款の国庫支出金が新型コロナウイルスの予防接種や感染症対策などで、前年比11.8%の増、21款の諸収入では学校給食の公会計化で前年比119.3%の増を見込んでおります。

一方、19款の繰入金につきましては、7億72,970千円で、前年度から△95,0

07千円、率にして△10.9%の減で、前年度に計上しました施設修繕整備費用などに充当したまちづくり基金が減少したことによるものです。

また、22款の町債は9億85,800千円で、前年度に道の駅整備事業や大野山下山道整備などに伴う起債を計上していた関係で、前年度から△3億49,300千円、率にして△26.2%の減となっております。以上、一般会計歳入総額といたしまして、107億25,000千円でございます。

続きまして、10ページをお開きください。一般会計歳出予算の目的別の内訳でございます。ここでは、歳出予算を費目別に説明しているもので、主なものをご説明いたします。

2款の総務費では、12億58,833千円で、前年度から6.6%の増となっています。

主な予算の内容としては、選挙費で衆院選、知事選、町長選の3回を見込み48,200千円増のほか、マイナンバーカード普及推進費として56,698千円などでございます。

3款の民生費では、35億48,982千円で、前年度から1.6%の増となっています。主な内容としましては、施設型給付事業458,116千円、障がい福祉サービスや、国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療保険の各特別会計への繰出金などでございます。

4款の衛生費につきましては、11億56,207千円で、前年度から4.2%の増となっています。主な内容としては、新型コロナウイルスワクチン予防接種事業69,469千円などでございます。

5款の農林水産業費は、2億49,884千円で、前年度比で△72.2%の減、前年度に道の駅整備事業や治山事業といった大規模な事業予算を計上していましたが大きな減少要因となっています。

6款の商工費は、1億14,788千円で、前年度の大野山下山道整備が完了したことにより、前年度比で△44.2%の減となっています。

9款の教育費では、17億70,433千円で、前年度から9.7%の増となっています。

主な内容としましては、中学校再編事業53,713千円のほか、小中学校の給食費公会計化1億48,000千円などでございます。

11款の公債費は、8億96,509千円で、近年の地方債の元金償還が始まることから、前年度比で2.7%の増となっています。

以上が一般会計の目的別歳出の内訳となり、総額で107億25,000千円、前年度比で△4.0%の減となっているものでございます。

次に15ページをお願いします。ここでは、地方債の年度末残高の推移を記載しております。下の地方債残高のグラフを見ていただきますと、特に令和元年度以降は度重なる災害に対する復旧事業や学校施設整備、道の駅整備事業など大規模事業が重なり、地方債残高は増加傾向となっています。また、地方交付税にかわる財源として措置される臨時財政対策債においても、新型コロナウイルス感染症の影響で新年度は増額を見込むことから、令和3年度末の地方債残高は、91億86,000千円を見込んでいます。

次の16ページをお願いします。一般会計基金の年度末残高の推移を記載しております。

本年度、令和2年度末の見込みとしまして、38億12,000千円を見込んでおります。

次に25ページですが、これ以降については、当初予算一般会計の主要事業概要について、第六次総合計画の体系に沿って記載しておりますので、後程ご覧をいただきたいと思います。

以上が、本町の令和3年度当初予算の概要でございます。続いて、別冊で整理しております「主要事業説明書」について、ご説明します。令和3年度予算における主要な事業について、第六次総合計画の重点戦略に体系づけてご説明させていただきます。

ページを1枚ひらいていただきますと、「目次」がありまして、重点戦略1から重点戦略3にそれぞれ区分して、新年度で特に重点的に取り組む7つの事業としてまとめておりますので、各事業の概要について、順次ご説明させていただきます。

まず1ページですが、【重点戦略1】の取組みといたしまして、「大野アルプスランドの活性化」です。本年度、山頂からの下山道安全対策工事や、「恋人の聖地」に選定されたことを受けてのモニュメント設置、山頂駐車場の整備を行いました。さらに、新年度はキャンプ場の本格再開を目指しつつ、これまで以上に安全で安心して訪れていただくことができるように、水洗トイレ棟の新設や、炊事場棟の改修など、さらなる魅力アップに繋がる取り組みを進めていきます。これらの事業費は、令和2年度予算で措置しました総事業費1億12,000千円の一部を新年度に繰り越して、引き続き実施していくものでございます。

次に、2ページをご覧ください。【重点戦略2】の一つ目として上段、「外国人相談窓口の機能拡充」です。現在、役場庁舎内では、地域の外国人が安心して暮らせるように、外国人相談窓口を開設していますが、近年では、英語以外の言語での対応も望まれてきています。そこで、新年度から対応言語の多様化を目的に、30言語対応の翻訳システムを新たに導入し、外国人の相談環境の一層の充実を図ります。必要な事業費として、3,605千円を計上しております。

次に二つ目の取組として下段、「移住相談窓口の設置」です。本町は、都市近郊にある自然環境豊かな住宅都市として、多くの人が暮らしていますが、近年は人口減少にあります。今後も人口減少が予想されているなか、令和3年度から「移住相談」をワンストップに対応できる窓口を新設します。専用窓口では、ホームページを活用した猪名川町の移住・定住の案内や各種支援制度の分かりやすい案内など、移住希望者に情報を届けることを重点的に取り組んでまいります。事業費の計上はございません。

続きまして、3ページをお願いします。【重点戦略2】の三つ目の取組みとなる「町立中学校再編準備事業」でございます。猪名川町立中学校再編計画に基づいて、新設中学校「清陵中学校」を令和4年度に開校します。現中谷中学校の校舎を利用するため、屋上防水や外壁塗装などの営繕工事、スクールバスの購入や乗降場の整備のほか、中谷・六瀬両中学校の生徒の事前交流授業を行うなど、再編に係る必要な準備を進めてまいります。必要な事業費として、令和2年度予算からの繰越額を含め、総額2億52,263千円を計上しております。

続きまして、4ページをお願いします。【重点戦略2】の四つ目の取組みとなる「高齢者・障がい者の外出支援」です。まず、高齢者外出支援事業につきましては、町内在住の70歳以上の方を対象に阪急バスなどが発行する「h a n i c a グランドパス65」の購入助成を実施します。本町の重要な公共交通手段である阪急バスの利用促進の意味でも、阪神各市にも引けを取らない上限2万円という手厚い助成を行ってまいります。また、町内在住の70歳以上の方で免許の返納をした方については、引続き「h a n i c a グランドパス65」に加え、タクシー助成などの購入費を助成していきます。これに必要な事業費として、12,270千円を計上しております。

次に、障がい者外出支援事業でございます。障がい者に対する支援施策については、自立を促すサービス支給へ転換が図られ、様々な障がい者福祉サービスが拡充されてきた中で、外出支援の充実が求められております。そこで、新年度より町内在住の重度障がい者に対し、新たにタクシー助成券を交付するものでございます。重度障がい者に千円券を年間12枚、人工透析治療を受けている方に千円券を年間48枚支給するもので、必要な事業費として、5,505千円を計上しております。

続きまして、5ページをお願いします。【重点戦略2】の五つ目の取組みとなる「農地活用推進事業」です。農業においては、高齢化、担い手不足による耕作放棄地の増加など多くの課題が深刻化していることから、農地の流動化、農業者の新規参入を促進する施策が必要です。そこで、新年度から農用地区域外での農地取得面積を30aから10aに緩和した上で、さらに、「猪名川町農地バンク制度」を新設し、新規就農者や担い手を集約、あつせんする制度を構築します。さらに、この制度を利用して荒廃農地を借り受け、再生利用する農業者を支援するため、補助制度を創設します。これにより、改善困難な遊休農地の解消にも繋がっていくものと考えております。必要な事業費として、515千円を計上しております。

最後のページとなりますが、6ページをお願いします。【重点戦略3】の取組みとなる「公共交通対策事業」です。包括連携協定を締結したネットヨタ神戸株式会社との連携協力のもと、より地域に根差した交通システムを実現するため、令和2年5月より、町内2地域をモデル地区に選定し、デマンド交通の導入に向けた実証実験を行っています。令和3年度からは、「WEB予約」「顔認証システムを活用したキャッシュレス決済システム」など新たな仕組みを導入しながら、道路運送法21条による有償での実証実験に移行し、有償での利用者ニーズや利用実績を踏まえ、さらに検証を重ねながら、本格導入の可能性を見極めてまいります。この事業費としては、68,007千円を計上しております。

以上、ご説明いたしましたものが、令和3年度予算にかかる主要事業となりますが、時間の都合上、本日ご説明していないその他の主要事業につきましては、先にご覧いただきました「予算の概要」の25ページ以降に主要事業概要として掲載しておりますので、後程ご覧いただきたいと思います。

以上で、令和3年度猪名川町当初予算の概要のご説明とさせていただきます。

(福田町長)

本年度予算の概要について説明を差し上げました。なかなか全体予算をみることはないのではと思いますが、教育委員会の皆さまから、何かご質問、ご意見等はございませんでしょうか。

(渡瀬教育委員)

先ほどご説明いただいた点について、18ページの人口及び世帯の推移というところ、年代別に、それぞれどれぐらいの方が猪名川町にお住まいかを記載されていますが、その中で世帯数は若干増減するなか、若い世代の方が減ってきております。令和2年度から3年度に比べては、数字も少しはましになってきているようですが、65歳以上の方々の数が増えてきているということになっていますけれども、このあたり予算の概要と見比べて、どのように分析されているのか、教えていただければと思います。

(森企画総務部長)

委員お尋ねの点、なかなかぴったりの答えはできませんが、全国的に少子高齢化が進んでいるなかで、本町においては、過去より「子育てするなら猪名川町」というフレーズのとおり、1人でも多く本町で子育てをしてもらうための施策を実施しております。乳幼児医療ですとか、教育でいいますとギガスクールですとか、多くの町費を投入してきております。

猪名川町で育ち、猪名川町に帰ってきてもらう、いい思い出を作ってもらうためにも、いろいろな施策に取り組んでおります。住宅、若い世代に住みたいと思ってもらえるような住環境、ニュータウン開発は終了していますけれども、空き家対策も含めて力を入れていきたい。

委員ご指摘の15歳未満の割合が減少しているという点については、若い世代が住みたいと思えるような町を目指して、環境を良くしていくことをもっとしていかないと、今のこの数字を改善するのは難しいのではないかと思います。時間のかかることですし、結果もすぐに出るものではありませんが、こういった点も含めて、若い世代が住みやすい町づくりを進めていきたいと思います。

(福田町長)

私は「ひとつの町」として、何としても「人口3万人」を死守しようと考えています。来年からはプロロジスも運用が始まります。そこでは1500人程度の雇用が見込まれています。その人たちを、いかに猪名川町に住んでもらうか。通勤してもらうだけではなく、住んでもらうための施策、助成金を出すとか、そういった施策にも取り組んでいます。子どもさんがいる家族に移り住んでもらう、そういう施策にも取り組んでいきたい。兵庫県41市町ありますが、人口減少率は他市に比べて高くない、これをなるべく減らさない努力をして

いきたいと思っています。

(渡瀬教育委員)

私の知り合いでも町外から引っ越してきた人がいます。どうして猪名川町を選ばれたのか聞いてみると、特別支援教育や各種補助金ですとか、かなり手厚くしてもらっている、そのように聞いています。コロナ禍になって、町の公園で子育て世代が遊んでいるのを見て、車のナンバープレートを見ると、知らない地域のナンバーがあったり、大変うれしいことですが。また、大野山も多くの費用をかけて整備していただいております。ぜひ若い世代に来ていただき、お子さんのいる家庭が訪れてくれるような環境づくりに努めていただきたいと思います。

(福田町長)

私が今までやってきたのが、今の世代だけでなく、これからの世代、子ども、孫が猪名川町に住んでもらえる、そういう活力あるまちづくりをしていこう、ということで、プロロジスもそうですし、道の駅もそうですし、関西大学との産学連携もやっています。日生2期開発地においてもいろいろな事業をしていこうと思います。将来的には関西大学も来てくれると思います。今のことだけでなく、これからのこと、住んでよかったと思われる町を作っていきたい。そう思って、大野山や銀山、たくさんの人に来て欲しい、その大元を今作ろうとしています。

他にありませんでしょうか。

それでは、次の報告事項に移らせていただきます。

「報告第2号 猪名川町立中学校再編準備委員会の進捗について」、教育委員会に説明を求めます。

(中西教育長)

失礼します。本日の報告第2号、猪名川町立中学校再編準備委員会の進捗について、町長にご報告をいたします。

ご承知のとおり、昨年度、本年度の2カ年で新設校開設の準備を進めていきます。その中核となるのが再編準備委員会であります。保護者、地域住民、教職員で構成しております準備委員会、コロナ禍の中でもありますけれども、昨年6月に第1回を開催して、現在のところ6回開催しております。その間に、各部会での協議を進めておりまして、様々なことが決定しており、これからも決め続けていかないといけないと思います。その再編準備の進捗、1年を切った再編の準備について、この後、担当から説明させますのでよろしくお願いいたします。

(春名教育振興課主幹)

失礼いたします。それでは、報告案件第2号、「猪名川町立中学校再編準備委員会の進捗について」、私よりご説明いたします。

まず、A3横長の資料をご覧くださいませようをお願いいたします。

こちらの資料、再編準備委員会の事務進捗を、時系列に、事務項目ごとに一覧とさせていただきます。

再編準備委員会ですが、昨年の6月に立ち上がり、今まで、新設校開設に向けた各種協議を進めてまいりました。本委員会で令和2年度に決定したこと、そして本年度、令和3年度に取り組む事項を一覧として整理させていただいております。

例えば、1ページの一番上、学校名については、令和2年11月に条例改正案を教育委員会にて議決、12月町議会においても可決され、正式に「清陵中学校」に決定しました。

また2段目の校章については、令和2年度、デザイン公募からはじまり、選考部会において2次選考まで実施しました。そして令和3年4月、全体会における3次選考を経て教育委員会にてデザイン原案が決定しました。この、校章決定にかかる経緯経過については、後ほど詳しくご説明差し上げます。

3段目の校旗製作については、校章デザインも決まりましたので、今後、専門事業者と色や素材等について協議を進め、年内には完成の予定です。

4段目の校歌については、専門家への依頼を前提として進めてまいり、これも年内には完成の予定です。

その他、事務項目が列挙されておりますが、これは再編準備委員会の下部組織である各専門部会が調査研究に取り組んでおります。

ページをおめくりいただきまして、再編準備委員会だよりの第8号、裏面をごらんください。各専門部会、直近の取組について掲載しております。

再編準備委員会については、その所掌事務が大変広いため、専門的に調査研究する専門部会が設けられております。その直近の取組についてご説明いたします。

まず、通学対策部会ですが、スクールバスの運用についての調査研究を行っております。遠距離通学の地域については、スクールバスを運用します。スクールバスは定刻どりの運行となりますが、万一、バスに乗車できなかった場合には、原則、保護者の責任で登校となりますが、バスを利用できなかった場合の支援策についても検討しております。なにかと申しますと、やむを得ない理由でスクールバスを利用できないというお子さんもいらっしゃるかもしれません。例えば、不登校などでなかなか他のお子さんと一緒に通学することができない、今も、時間をずらして、時差を設けて通学しているお子さんもいらっしゃいます。ですので、もしかすると、スクールバスを利用することができないというお子さんがいらっしゃるかもしれません。そういった際に、何か支援することができないか、という点について、検討をいただいております。

次に生徒指導部会についてですが、今は体操服の選定に入っております。複数事業者の提案に基づく総合評価にて、体操服の選定が行われました。ベースとなる体操服は決定しまし

たので、これから色やロゴデザインについて、生徒指導部会と業者が協議を行い、10月頃には完成の予定です。

次に教育計画部会でございます。部活動などについて検討いただいております。清陵中学校開校時における部活動は、基本的には、現在、中谷六瀬で活動している部活動がそのまま存続となる予定です。

次に地域部会です。ここでは閉校式、中谷六瀬、ともに歴史伝統のある学校であります。その閉校式に関する協議が進められております。基本的には2部型式が考えられております。第1部につきましては、教育委員会が主催する式典としての閉校式、第2部につきましては、地域や保護者、学校が主催の記念行事的な閉校式の実施が考えられております。

最後、PTA部会でございます。清陵中学校においてもPTAを発足という方向で進んでおります。規約案の骨子というものができあがっておりますので、それぞれの小中学校での総会において説明、役員の選出などについてご意見いただいておりますのでございます。

専門部会の直近の活動にかかる説明は以上です。

それでは、資料4ページをごらんください。先日に決定しました清陵中学校校章についてご説明いたします。

再編準備委員会においては、校名の決定、これが主要な議題でした。その学校名も決まり、次に大きな議案としましては、校章デザインについてでした。令和3年1月の公募にはじまり、同年4月の教育委員会定例会において原案決定となりました。その経緯経過について時系列でお示しいたします。

昨年10月の第3回準備委員会で、校章については、公募で町内外広く募るということが決まりました。12月の第4回会議では、募集要項、募集の詳細が決まりました。年を明けまして、令和3年1月4日から2月26日まで、おおむね2か月で校章の募集をいたしました。結果、町内外から243点のデザインの応募がありました。そして、この校章デザインの選考については、「校章デザイン選考部会」という専門の部会を設けて、その部会の中で集中的に審議を進めさせていただきました。2月には第1回部会が開催され、選考方法について検討がなされました。3月10日には第2回選考部会が開催され、1次選考を実施、24点にまで絞り込みました。そして、3月12日から24日までアンケートを実施しました。これは何かと申しますと、デザインの絞り込み、これを再編準備委員会の委員だけで決めていくのではなくて、新設校区の児童生徒、ご家庭の皆さまにアンケートを実施して、新設校にふさわしいと思われる校章について意見をいただき、これを参考として選考を進めていくということでアンケートを実施しました。3月末には第3回選考部会を実施しまして、6点にまで絞り込みました。そして、年度をあけまして、令和3年4月には全体会を開催、3次選考を実施しまして3点にまで絞り込みました。この3候補を教育委員会に報告し、4月開催の第1回教育委員会定例会において、1点が校章デザイン原案として決定しました。次のページをご覧ください。清陵中学校の校章原案です。決定したデザインはこのイラストのとおりでございます。デザインですが、製作された方によりますと、「清」を意味するのは、

デザインの上の部分、川の部分です、猪名川の川の流れをアーチで表現していると、そして、「陵」は半円部分でイメージしていると、そして下の部分は、旧2校が手を取り羽ばたく様子をイメージしていると。全体としては、「清陵」のイニシャルの「S」を表していると、というようなデザインとなっております。

このデザインについて、教育委員会においては、「わかりやすい」「目をひく」「斬新である」「清陵中学校のコンセプトに合致している」というような意見もありまして、このデザインの決定に至ったということでございます。

以上、中学校再編の進捗、直近の状況についてのご説明とさせていただきます。

(福田町長)

説明は以上です。

教育委員会の皆さまから、何か補足等はございませんでしょうか？

(森口教育委員)

教育委員として、再編にかかる想いを述べさせていただきます。

将来ある子どもたちについて責任ある者たちが、子どもたちの将来に責任をもつということから中学校の再編をしていこう、という形で始まってきたところであります。当初、事務局も教育長も苦労されまして、住民の皆さまへの説明もなされ、最終的に住民の皆さまの同意をいただいて再編をはじめさせていただくという形に昨年度からなりました。

その中で、各地域の方々及び関係者の方々から、再編準備委員会の委員を選出いただきまして、委員の皆さま、力を出し合って、精いっぱい子どもたちのためになる学校を作ろうという想いで結束してやっていたというのを、常に私も、何度か会議に出させていただきましたし、お話しも聞かせさせていただいて、うれしい想いでいっぱいです。

確かに、猪名川町に関しましては、人口が減少、特に子どもの数の減少が顕著でありまして、過去、阿古谷小学校が松尾台小学校に統合されたということもありましたが、その中で常にありますが、子どもたちのため、というのを忘れずにやってきたというのがあります。

ここにきて、校名が決まり、校章が決まりと、新しい学校の開校間近だなど、という想いになってきました。今、一生懸命その形を作ろうとしていますけど、そのできた形に対して、気持ちを入れていかなければいけません。それが開校された後の、教育委員会の仕事だと思いますし、その教育委員会の仕事が円滑にいくように町からの支援をたくさんいただかないといけないと思います。そういったことを含めて、今までいろいろと、予算の面も含めてご協力いただきましたことは教育委員会よりお礼申し上げたいと思います。

これからよりよい学校づくり、清陵中学校に限らず猪名川町全ての小中学校、幼稚園に関して、よりよいものをつくっていきたいと思っています。今の気持ちとしてお伝えさせていただきます。

(福田町長)

子どもの成長には、やはり子どもたちの中で切磋琢磨して大きくなっていくことが一番と思います。中学校再編は、子どもたちのために進めてきたと、私は考えています。

他にご意見はありませんか。

(田尻教育委員)

コロナ禍の中で準備を進めるのは大変だと思います。その中で準備委員会の皆さんが頑張ってくださいました。これからの多様な考え方の社会の中で、多くの子どもたちと触れ合う中で心身を成長させてほしいと思います。地域と学校というのが、再編準備委員会を進めていくうえで、より密接になっていく、中学生は部活動など忙しくなって、どうしても地域と離れてしまいがちといわれている中で、地域と学校という関係が育まれていけばと思います。

(福田町長)

中谷中と六瀬中が単に一つになるというのではなく、皆さん方が一つになって学校を見守っていただく、そういう町がよいと思います。自分の子どもを通わせる学校をいかに盛り立てていくか、これが学校運営として問われるのではないかと思います。皆さんが猪名川町の教育の基礎を作っていくわけで、いい町にはいい学校がある、と思っています。

他にご意見はありませんか。

(北垣教育委員)

たくさんの方々が協議をする中でここまで進めてきたことに感謝しています。

再編により教育長も書かれておりますとおり、かつての学校は正解を教えて、子どもを育てる場であったのに対して、これからは正解のない問いに挑む力、それが育つ場であると、そういうふうに変わっていかないといけない時だと思っています。もちろん、新しい学校だけでなく、既存の学校もそうであって、新しい学校ができるのはそれを進める絶好のチャンスだと思っています。あんな学校に通わせたい、そう思えるような学校づくりに携わる、特に大人、堅い頭ではなくて、柔らかい頭でこれからも取り組んでいきたいと思っています。

(福田町長)

保護者の意見も聞きながら、これからの猪名川町の教育を考えていただけたらと思います。

それでは、他にご意見も無いようですので、報告事項は以上とさせていただきます。

3. その他

(福田町長)

それでは、本日予定していました案件は以上となりますが、委員の皆様から、その他として何かあればお聞きしたいと思います。

事務局から何かありますか。

－ 特になし －

(福田町長)

特に無いようですので、次回、開催につきましては、協議案件等が生じた場合、その都度、ご案内させていただく予定としていますので、よろしくお願いします。

これを持ちまして、令和３年度第１回猪名川町総合教育会議を終了いたします。

本日は、ありがとうございました。

午後５時３０分 閉会